

## 入選

山内 星良(やまうち せいら) 柏木小 6年生

作品名:三人みんなヒーロー

図書:ぼくたちのリアル

となりに住むおさななじみのリアルは何でもでき、完ぺきに見える男の子。それに比べて主人公のアスカは、どこにでもいるごくふ通の男の子。勉強もスポーツもできて、人望も厚いリアルにコンプレックスを感じるアスカの気持ちがよく分かる。私も友達の良いところばかり見えて、自分に自信がなくなる時があるからだ。同じクラスにリアルみたいな子がいたら、私もきっと比べられるのがいやで、さけてしまうかもしれない。あこがれが大きすぎて、うまく話せないかもしれない。だから、それでもリアルにぶつかっていったアスカは、すごくかっこいいなと思った。アスカは人のことを良く見ていて、誰よりも人の気持ちを感じ取ることができる。そして友達のために行動する勇気がある。気持ちに気付いても、アスカみたいに行動できるだろうか。アスカはリアルのことをヒーローみたいに思っているが、私からしたらアスカも同じくヒーローだ。

リアルはリアルで辛い過去の記憶がある。もう一人の友達のサジも複雑な思いや悩みがある。それぞれが実は悩みを抱えている。三人とも弱さもあるけれど、それを三人で乗り越えていく様子がとても気持ちがよかった。特にリアルの仮面がはがれて、今まで距離があったアスカに感情をはき出すシーンにはとても心動かされた。

そして、

「おまえがそんなにすごいやつじゃなくたって、ぼくたちはリアルのことをちゃんと好きだよ。」

そう言ったアスカの言葉にも感動した。リアルは本当の自分をわかってもらえて、すごくうれしかったと思う。よく「自分の気持ちに素直に」とかたんに言うけれど、これはすごく難しいことだ。リアルもアスカとサジがいたから、完ぺきでなくていいことに気づいて、本当の姿を見せることができたのだと思う。それぞれが悩んで支え合って、趣味や性格がちがっても、こんな風に親友になるのは素敵だな。

この三人は私の目標だ。自分とちがうところを受け入れるのは難しいが、大切な

友達だからこそ、相手のことを真げんに考えて、言葉や態度で伝えていきたい。